

学位授与プロセス

【研究指導計画】

研究指導教員は、以下の指導計画に基づき、研究指導を行います。

- ① 学生が設定する研究主題および研究計画に対して適切な指導を行う。
- ② 博士論文の作成過程において、専門知識や分析方法に関する指導を行う。
- ③ 学会、各種研究会への参加機会を提供し、研究成果の発表を奨励する。
- ④ 博士課程研究発表会で講評を行う。
- ⑤ 学位授与の各プロセス（進級資格試験、研究計画評価、中間報告審査、最終報告、博士論文最終審査）で審査を行う。

【学位授与プロセス】

学位授与のプロセスには、「進級資格試験」「研究計画評価」「中間報告審査」があり、それぞれ順に合格した後、「最終報告」を経て、学位申請論文を提出する手続きに入ります。

第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期



「進級資格試験」 「研究計画評価」 「中間報告審査」 「最終報告」

- ① 学生は第2年次後期に「進級資格試験」を受験し、「進級資格試験」に合格しなければ3年次からの「研究指導」は履修できません。
- ② 学生は第3年次後期に「研究計画評価」を受験し、「研究計画評価」に合格しなければ「中間報告審査」を受験できません。
- ③ 後期に「中間報告審査」を受験し、「中間報告審査」に合格しなければ「最終報告」ができません。
- ④ 「進級資格試験」「研究計画評価」および「中間報告審査」は、公開指導委員会にて行います。いずれも受験回数は2回までとし、審査は5月、7月、10月、12月、2月に実施予定です。
「最終報告」は研究成果の報告とし、公聴会形式で行います。
- ⑤ 学生は、原則として、半期ごとに開催される「博士課程研究発表会」において、研究内容について発表します。博士課程研究発表会で発表しなければ、公開指導委員会の審査（研究計画評価、中間報告）を受けることが出来ません。（前出6. 博士課程研究発表会についてを参照）
- ⑥ 9月修了について：前年度の10月に最終報告を実施したが、最終試験の受験には至らなかった場合、翌年度前期に最終試験を受験し、9月修了をすることも出来ます。（専門職大学院教務課に相談してください）

国際マネジメント研究科博士課程(5年一貫制3年次編入 DBAコース)修了までのプロセス

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年度	入学	公開指導委員会		公開指導委員会	研究発表会		公開指導委員会		公開指導委員会		研究発表会	公開指導委員会
2018年度		公開指導委員会		公開指導委員会	研究発表会		公開指導委員会		公開指導委員会		研究発表会	公開指導委員会
2019年度		公開指導委員会 博士學位申請論文提出 4年目以降在学者		公開指導委員会	研究発表会		博士學位授与	最終報告 公開指導委員会	博士學位申請論文提出	公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会 博士學位授与

公開指導委員会 博士論文研究計画評価(受験機会2回)
博士論文中間報告審査(受験機会2回)

博士論文最終報告(10月)

◇ 在学年数標準3年、6年を超えて在学することはできない。